

各位

上場会社名 株式会社 サンワード
代表者 代表取締役社長 中村 勝弘
(コード番号 7430)
問合せ先責任者 専務取締役商品開発担当 兼 管理担当 後藤 昭一
(TEL 017-782-3200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年9月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,600	670	700	200	37.88
今回修正予想(B)	30,700	860	870	245	46.41
増減額(B-A)	100	190	170	45	
増減率(%)	0.3	28.4	24.3	22.5	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	29,303	493	444	137	26.10

平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,300	600	630	155	29.36
今回修正予想(B)	28,500	725	790	203	38.45
増減額(B-A)	200	125	160	48	
増減率(%)	0.7	20.8	25.4	31.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	27,267	378	384	108	20.55

修正の理由

1. 連結業績予想の修正

平成24年2月期通期連結業績予想の修正理由

(売上高の修正)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響で、生産及び供給の停滞、電力不足の懸念等から国内経済は減速しましたが、その後のサプライチェーンの復旧、復興需要の拡大等で、経済の持ち直しが見られました。しかし、円高の進行、原油の高騰、海外の経済不安等は未だに続いており、不透明感は拭いきれない状況にあります。

このような環境の中、継続的に強化を図ってきた食品部門が順調に売上を伸ばし、震災復興需要商品が第3四半期以降も引き続き好調に推移し、第4四半期には除雪関連商品が売上高を押し上げました。

これにより、売上高は30,700百万円(前回発表予想値比0.3%増)となる見通しであります。

(営業利益の修正)

震災後、停電対策商品(発電機、充電器類)や防災商品等の比較的粗利の高い商品群の継続的な伸びが粗利率を上げ、単品在庫管理システムの定着化による在庫圧縮で商品ロスの減少、値下の抑制が奏功し、粗利額、率ともに高まる見通しであります。あわせて、広告宣伝費等の節減によって、販売費及び一般管理費も予想値より減少する見通しであります。

この結果、営業利益は860百万円(前回発表予想値比28.4%増)となる見通しであります。

(経常利益の修正)

営業利益の修正要因と営業外収益増加により、経常利益は870百万円(前回発表予想値比24.3%増)となる見通しであります。

(当期純利益の修正)

「資産除去債務に関する会計基準」及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」を適用した資産除去債務、並びに東日本大震災での被害、また有価証券評価損等の特別損失は210百万円となる見通しですが、営業利益並びに経常利益の修正要因にて、当期純利益は245百万円(前回発表予想値比22.5%増)となる見通しであります。

2. 個別業績予想の理由

個別業績予想につきましては、連結業績予想に係る内容と同一のため、記載を省略いたします。

(注) 当資料に記載の業績予想等につきましては、現在入手可能な情報をもとに当社が計画、予想したものであり、実際の業績等は、今後の様々な条件、要因により当資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上